

☆生徒の皆さんへ

～新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業について～

校長より

令和2年4月20日

令和2年4月16日に政府から緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大するとの方針が発せられ、福島県知事から県教育委員会に一斉臨時休業を行うよう要請がありました。この要請を受けた県教育委員会の方針に従い、喜多方高等学校においても、他の県立高等学校同様、下記の期間、臨時休業を行います。

記

○ 臨時休業期間

令和2年4月21日（火）～5月6日（水）

※ ただし各学年1，3組は4月30日（木）、2，4組は5月1日（金）を登校日とする。通常通り登校、午前中で放課の予定。

※ 部活動は中止。

生徒の皆さん、新型コロナウイルスの感染拡大は我々の生活に大きな影響を与えています。昨年度、今年度にわたってこれで2度目の長い休校となります。私は、子どもたちを育てる教育は、社会の中で最も大事な働きだと考えますが、大都市圏を中心に、陽性患者が急増している今、その社会を守るために、あるいはその社会を構成する個人を守るために、緊急の対応として、学校休業もやむを得ないと考えています。しかし、皆さん若者の成長を止めることはできません。私たちは前に進まなくてははいけません。健康で安全な生活を保持しながら、高校生の本分である学業を全うし、気力、体力を向上させる営みを、休業中であっても止めないでください。以下にいくつか留意点を述べます。

1 健康で安全な生活を送る。

(1) 規則正しい生活を送り、望ましい生活習慣を維持する。

早寝早起き。6時に起きて、23時には寝る。朝起きたら顔を洗って着替える。家の人に大きな声で「おはよう」とあいさつ！！朝昼夜ちゃんと作って食べる。基本的に時間割に従って学習しましょう。自立せよ！むしろ家の人の力になろう。

(2) 外出は極力控え、基本的に自宅で過ごす。

不特定多数が集まる「3密」の場所に行かない。カラオケボックス、ライブハウス、映画館など。友達とも密集しない。県内の他の地域や県外には極力行かない。

(3) 適度な運動を。

集団で行動するなどの「3密」は避け、屋外など換気が十分なところで、ジョギング、縄跳びなど、健康保持のための運動を毎日してください。

(4) 自宅でも健康確認を。

感染拡大防止の観点から、自宅でも毎日検温。今日渡った記録用紙に記録する。下記のような症状がある場合には、帰国者・接触者相談センターに相談する。

・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）

・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

※ 基礎疾患がある生徒において、上記の症状が2日程度続く場合は、帰国者・接触者相談センターに相談し指示に従う。

(5) 医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合速やかに家庭から学校に連絡を入れてください。

2 家庭との連絡について

(1) 臨時休業期間中に、緊急の連絡がある場合は、「お知らせメール」「学校 HP」により、連絡します。

(2) 担任から適宜電話連絡を行います。

(3) 今回の臨時休業に関わる学校からのプリントや HR での資料については、必ず保護者の方に目を通してもらってください。

3 学習について

(1) これを機会に「自立した学習者」を目指そう。

臨時休業明けに、何を達成した状態で学校に来たいか、目標を立てよう。そして、それをどう実行するか、計画表に計画を書き込もう。基本的に時間割に基づいて計画を立てよう。与えられた課題を確認し、また、自分の進路目標に応じた学習課題を自ら設定しよう。自分の進路目標を達成するために、今自分は何をやるべきか、考えよう (PLAN→DO)。実際にやれたかどうか、実際にやったものを赤ペンで、計画表に重ね書きしよう (CHECK)。

(2) 家庭学習の成果は学習評価の対象。

家庭学習の成果は、学習評価の対象ともなるので、与えられた課題にはしっかりと取り組み、自分の満足のいく成績を取りましょう。

(3) やればやるだけ自分は伸びる。「やる気スイッチ」を入れよう。

自分を信じて、まずは課題に取り掛かってみるのが大事だ。ゲームをやりたくなったらその前10分間は勉強やってみよう、と取り掛かってみること。「やる気スイッチ」が入る。

(4) 登校日について

登校日に健康確認や、学習状況の中間確認を行います。計画表と、取組中の各教科の課題を持参してください。

(5) 読書、新聞でニュースに触れる。

小説、評論など興味の湧く面白い本や新聞などの活字を読むことによって、広い視野と教養を身に付け、深い認識力、批判力を持って世の中を、そして世界を見つめられるようにしよう。

4 心にストレスがたまったら。

(1) 担任の先生に電話してください。

(2) 以下の3つの相談方法もあります。活用してみてください。

「ふくしま24時間子どもSOS」電話：0120-916-024 (24時間受付)

「ダイヤルSOS」電話：0120-453-141 (福島県教育センター)

受付時間：月曜日から金曜日 10時から17時

「ふくしま子どもLINE相談」学校から配られたQRコードにより友達登録する。

最後にソクラテスの言葉を紹介します…「**一番大切なことは、単に生きることではなく、善く生きることである。**」⇒**苦しい中ではありますが、自分にできることを積み重ねて、一緒に乗り越えていきましょう！！**

